

陳情第94号	受理年月日	平成27年6月19日
付託委員会	教育水道委員会	
陳情者	門司区大字畑2131-14 北九州市立松ヶ江幼稚園の存続を願う会 代表 大塚 康德 (署名138人)	
件名	松ヶ江幼稚園の存続について	H27.8.10:538名署名追加 H27.8.12:373名署名追加
要旨		
<p>松ヶ江幼稚園は、松ヶ江地区唯一の幼稚園であるとともに、門司区唯一の幼児教育における研究実践施設としての公立幼稚園でもある。</p> <p>幼児期における教育は幼稚園教諭や保護者、地域とのかかわり、周囲の環境を通して、豊かな人格形成や知的・感情的な面での成長に大きく影響を与える重要なものである。</p> <p>松ヶ江幼稚園は、教員育成プログラムの確立により、質の高い教育が行われている。園庭や隣の畑では昆虫採集ができ、野菜づくりを通して土に直接触れることができる。また、時折キジが飛来したりコイや亀、オタマジャクシなどを間近に見ることができ、5～6月には蛍も飛び交うなど大変自然環境にも恵まれている。地域の高齢者との定期的な交流も行われている。親に手を引かれて登降園することは、子供たちにとって親の深い愛情を受けて育つ機会にもなっている。更に、特別な支援を要する子供たちへの教諭の対応能力が高く、近くの松ヶ江南小学校の特別支援学級との連携のよさは公立幼稚園ならではのものである。</p> <p>保育園や、通園バスを利用する他の幼稚園と異なり、登降園時に保護者同士が接する機会が多く、育児に悩む保護者の心のよりどころにもなっている。</p> <p>地域のつながりが問われる昨今、松ヶ江幼稚園ほど、幼児と自然・地域・小学校、保護者、高齢者などとの間に多くのつながりをつくり出している幼稚園はほかにはない。</p> <p>松ヶ江地区には新しい町ができて子供の数は増加している。今後、まちづくりの観点からも松ヶ江幼稚園の必要性が増すことは明白である。</p>		

(続 く)

何事も「官から民へ」の一言で済ませてしまえば、将来の財産を失ってしまう可能性もある。必ず近い将来、松ヶ江幼稚園のような存在が必要であると言われる日が来る。

ついては、将来の子供たちのために松ヶ江幼稚園を存続していただきたい。